

第65回 MESH 環境デザインセミナー



主催
MESH (環境提案協会・中部)
後援
JCD (社団法人日本商環境設計家協会中部支部)
JID (社団法人インテリアデザイナー協会中部事業部)
SDA (社団法人日本サインデザイン協会中部地区)
CIP (有限責任中間法人中部インテリアプランナー協会)
国際デザインセンター
協力
名古屋大学
名古屋工業大学
愛知淑徳大学
椋山学園大学
名古屋デザイナー学院
トライデントデザイン専門学校
株式会社スペース
松下電工株式会社
コイズミ照明株式会社

2008年5月30日(金) 18:30 - 20:30
(18:00 受付開始)

名古屋工業大学 52号館103号室(共用棟)

名古屋市昭和区御器所町

052-262-0683

●セミナー参加費=1,000円
(同校学生は500円)

●懇親パーティー=1,500円



第1部 テーマ 境界の仕事「商」と「デザイン」

・講演:18:30~19:30(60分) ・ディスカッション:19:30~20:00(30分)



梶浦 厚 (Atsushi Kajiura)

商環境ディレクター JCD会員, 商業施設技術者・団体連合会会員, 主に複合大型商業施設のマスタープラン、及び商環境総合ディレクション、株式会社スペース 常務取締役商環境研究所 所長

●略歴

1950年名古屋生まれ。1974年名古屋芸術大学卒。1974年(株)日展入社。1979年(株)スペース入社。1982年内田繁氏総合ディレクション・アピタプロジェクトディレクター参加。1984年東京本社CE事業部長。1987年チェーンストア・業態開発ディレクター参加。2003年(株)スペース商環境研究所設立 所長。2005年 ディベロッパ―・SC開発ディレクター参加。

▶コメンテーター:堀越哲美 内田邦博 加藤和雄

第2部 「学生プレゼンテーション」

20:00~20:30(30分)

プレゼンテーター:名古屋工業大学学生 手嶋史恵

▶コメンテーター:梶浦 厚 堀越哲美 内田邦博 加藤和雄

●コメンテーター



堀越哲美
名古屋工業大学 大学院教授



内田邦博
オートモーティブ デザイナー
(株)国際デザインセンター
専務取締役



加藤和雄
建築家・デザイナー
加藤和雄/状況空間研究所所長



セミナー会場



懇親会場

第65回 MESH 環境デザインセミナー

■テーマ 境界の仕事「商(あきない)」と「デザイン」

講師：梶浦 厚 (Atsushi Kajjura)

・2008年5月30日(金) 18:30 - 20:30 参加者 127名
・名古屋工業大学52号館103号室(共用棟) 【文中敬称略】

デザインにはホットデザインとクールデザインがあります。

私は20代より今までクールデザインをしてまいりました。

クールデザインとは客観性、主観性をフラットな状態で思考し

デザインを整理展開してゆく手法だと考えています。

「商い」の原点は日本において神社・仏閣における参道に自然発生した商店街の状況にその原点を見いだす事ができます。

ヨーロッパにおいてはパサージュにその原点を見いだす事ができます。

20代は飲食店・物販店の企画デザインから始まり、

20代後半より大型商業施設の企画・設計・監理業務にたずさわってきました。

その中でも特に30代前半の時、内田繁氏デザイン・ディレクションによる

アピタ・プロジェクトにて「クール,コールドデザイン」等、内田繁氏より

多大な影響を受け50代後半まで大型商業施設の企画・設計・監理を通じて

売れる売り場状況、快適な店舗環境を目指してデザイン業務を行ってまいりました。



梶浦厚氏



ディスカッション

堀越：マインドシェアと店舗戦略について

内田：日本のショッピングモールのアイデンティティーについて

加藤：日本において博多キャナルシティ、オアシス21、またアメリカのホートンプラザ
の企画設計をしたジョンジャーディーの環境デザインについて

※以上の様な質問が出され熱っぽい意見交換が行われた。



第2部 学生プレゼンテーション

名古屋工業大学学生 手嶋史恵

栄地区に最近の学生には珍しく有機的かつモダンであり生命的ダイナミズムを感じる施設の提案があり、コメンテーターの方々、会場の方々と意見交換がなされました。

